Redacção e Administração
R. Assembléa, 16 - Tel. 2-5655 - Caixa, 2765

NOTICIAS de S. PAULO

Director Dario P. Almeida — Proprietario Rocro Kowyama

S. Paulo, 22 de Fevereiro de 1936 - N
Publicação Tri-semanal

Sr. M. Kobayashi
小林 美登利殿
r. Galvão Bueno, 407

聖市アキンブレフ街十六番地
郵函 三五
發行所 聖州新報社
發行人 宮山大郎
購讀料 一年分一〇〇〇
廣告料 一段五〇〇

英米海軍の共同作戰
日本目標に秘密交渉

紐育タイムス前社長の遺稿中から
驚くべき怪事實暴露

（紐育特信）一九二一年英國の日英同盟廢棄並にこれに次ぐワシントン海軍々縮條約締結の裏面に英米兩國の固き握手のあつた事は既に公然の秘密であるが、兩國政府が如何なる意圖のもとに又如何なる手段を經てこれを實現するに至つたかに就ては今日と雖も尙世界外交界でも謎中の謎とされてゐる、然るにこの謎はニューヨーク・タイムス前社長故オックス氏が生前書き遺した覺書によつて端なくも解かれたと同時に驚くべき新事實が暴露された、即ち日英同盟の廢棄はワシントン會議に先行して行はれたとはいへ、その實は兩者密接不可分のものとして英米兩國政府の間に秘密交渉が行はれたものであり、又英國政府は米國側に軍縮會議開催方を切出した際對日策として英米兩國艦隊の共同作戰を提示した事實さへ明かとなつた、この覺書は他の關係者の覺書と共にニューヨーク・タイムス外報部長ユージン・ヤング氏の新著「强力なる米國」の第三章に收錄され廣く天下に發表されて居る、以下は故オックス氏の覺書を要約せるものである

華府會議の謎は解かる

一

九二一年四月廿二日のことであつた、余はある一團の人々と英國より歸米の予定のところ船室の都合悪しきため滯留を餘儀なくされてゐたのであるが、其朝ロイド・ジョージ英首相は余を官邸の食卓に招いて、食事の折柄當時イギリス海相たりしリー卿より傳言あり余の歸米商是非とも面談し度しとのことであつた（オックス氏とリー卿はかねて親しい間柄であつた）よつて余は海軍省に同卿と懇談を遂げた、その際特に人はばらひして原は嚴重に閉されてゐた、リー卿は先づ

ニューヨーク・タイムスが常に英米親善のために盡してゐることはイギリスとして感謝してゐる處で余は貴下を信賴し腹藏なくお話する事が能きると口火を切つた、そこで余も之に應じて余も常に世界の福祉增進が英語國民特に英米兩國の双肩にかかつてゐると信じそしてこれに最善を盡すことが愛國的義務であると考へてゐると答へた所でリー卿も心から余の意見に贊成した、ついで次の如く余に語つた

英 米兩國が徒に建艦競爭をなすことは文明及び人道上の罪惡である、この見地からイギリス政府は傳統的な二國標準主義を捨て米國と均等の海軍力をもつ條約を締結する用意がある、この意向を非公式な形で米政府に傳へて貰ひたい

この言葉は余を非常に驚ろかした、卿は更に日米間に將來起り得べき紛爭に就て意見を述べた、といふのは當時米國の西部で日本移民の排斥問題があつたり、日本がメキシコと海軍根據地を設定する協約を結ばうとしたのが暴露されたことなどの爲に日米間の空氣が非常に緊張してゐたからである、卿はこれに就て次の様な意見を述べた

自分は日米間に斯樣な紛爭が起るといふ心配は杞憂に過ぎぬと思ふがアメリカの輿論がさうである以上もし余の提案が實現されたとしたら米國は必要に應じて合國の艦隊と太平洋に集中大西洋の警備は英國艦隊がこれに當ることが出來やうと思ふ

そ の際余は卿がこの提案を貴國政府へ非公式に傳へてもらいたいと云つたのを深い意味があるとは思はなかつた、然し實は他の列國殊に日本の猜疑心を起す虞のあるこの提案を實行するについては、卿は始しかなかつた事が後で了解出來た

かくて用談は終つた、余は斯樣に重大なしかも劃期的なメッセージを託した彼の信賴に感激し得意滿々の氣持ちを抱きながらその部屋を去つた事である

然しながら新聞社長の地位にあるため余自からリー卿の提言を傳へることは不穩當なので余と共に歸米したマーシャル君（タイムス紙倫敦特派員）をしてワシントン政府に傳へしむる事に決意した、今

「今昔の感無量」
末次大將談

（東京發）華府軍縮會議帝國全權團隨員として活躍した理海軍々事參議官末次信正大將は當時を追憶して左の如く語つた

當時自分も華府會議に隨員として出席したのであるが英米間に相當のアンダースタンディング（了解）のあるといふ事は直ちに感づいた、しかしその內容がオックス遺稿のやうな共同作戰程度まで進んでゐやうとは誰も氣がつかなかつた処だその後四ケ國條約、九ケ國條約、日英同盟廢棄等々日本を狙上にして英米兩國は日本の發展を阻止する爲に鋭いメスを揮つてゐたことは愈々顯著になつて來た、當時日本の政治家は自ら日本の實力を知らず、唯々英米追隨をこれ事として次第に彼等の思ふツボにはまつてゐた事を顧み、今次のロンドン會議で堂々我が主張を述べ列國も日本の實力を認識して來た有樣と比べて今昔の感に堪へない、米國が今日その艦隊を太平洋に集中してゐるのもかうした暗默の協定の存してゐることを物語るものであらうが、日本が毅然たる態度を持するに於てはこの種協定の存否等問題でない、遺稿にある樣に日本が華府會議當時メキシコに海軍根據地をもつため日墨交渉があつた等といふ事は全然デマで假に今日メキシコに根據地を與れるからといつて實はうとも思やしない

（以下略）

北支滿洲の日本軍强化
二個師團に出動令

（ロンドン廿日）ロイテル北平通信によれば北支の日本駐屯軍は近く倍加して總數四千名になり、司令官には中將級が任命される模樣である、現司令官多田少將は目下歸國中

（東京廿日）朝日及日々兩新聞は滿洲駐屯二師團及北支駐屯一師團交代の陸軍省の發表を觀せ二師團に出動令下ると大見出しで報道してゐる外國人方面ではこれは滿支駐屯日本軍大增員を意味するものと見て憂慮してゐる

今月末終幕か
何等具体的協定ならず
各國代表歸國支度

（倫敦二十日）ロンドン海軍會議の終結は來週末に起るものと豫想されるに至つた、各國代表は廿九日夫々當地を後に歸國すべく準備中である

豫想外の番狂せでも突發しない限り何等の協定にも到達せずして解散するものと海軍筋では觀測してゐる、然し技術委員會間の協定は曲りなりにもせよ出來上る筈であるから將來より好機會が到來した場合それを土台に改めて各國で協定し得るの便宜だけはあるわけである

滿蒙紛爭を英國注視す
ク大使、重光次官を訪問

（東京十九日）クライブ駐日英大使は外務省に重光次官を訪問、滿蒙國境問題に對する日本政府の意向を聞き合せ重光次官は

日本は右問題を平和的に解決する意向で、既に太田駐露大使を通じて露國政府に我方の意向は通告してあると答へた由であるが、傳へられる處によると英大使は全時に日本の參加を慫慂したと

獨參加問題
佛やゝ軟化

（ロンドン十九日）當都海軍筋では主力艦噸數に關し佛國側がなほ強ち要求に米國が如何なる決定をなすかが明白になる迄は海軍會議の事務は進ちしないだらうと觀測されてゐる

尙ドイツの參加について一般に信ぜられてゐる処によれば佛國は或種の條件が承認されれば反對しないとの意向をもらした模樣で、その條件は明白でないが、海陸空軍相互依存の見解に基いた條件も含まれてゐる樣子である、兎も角コルバン佛代表が本國政府へ齎すべき新方針の發表によつて明白になるわけで其の歸英が待たれてゐる

海軍會議
一部要求に米國が如何なる

（ロンドン十九日）當都海軍筋では主力艦噸數に關し佛國側がなほ強ち要求に米國が如何なる決定をなすかが明白になる迄は海軍會議の事務は進ちしないだらうと觀測されてゐる尙ドイツの參加について一般に信ぜられてゐる処によれば佛國は或種の條件が承認されれば反對しないとの意向をもらした模樣で、その條件は明白でないが、海陸空軍相互依存の見解に基いた條件も含まれてゐる樣子である、兎も角コルバン佛代表が本國政府へ齎すべき新方針の發表によつて明白になるわけで其の歸英が待たれてゐる

京阪に激震
火災各地に起る

（東京廿日）今日大阪、京都方面に激震あり火災、通信、交通事故諸所に起り株式取引所は休場の止むなきに至つた

シャムにコレラ大流行

（バンコック十九日）シャム全國に亘り過般來コレラ大流行で遂に當バンコック市內からも患者を出すに至つた、前週末調査によるとシャム全國のコレラ患者數は三百三十一名を數へ內二百八名は危篤狀態であつた、政府當局は無料で豫防注射等防疫に大童

海軍會議を
ム首相聽取

「ローマ十九日」ロンドン海軍會議の現情勢を聞くべく、歸國したラニエリ代表等を迎へムソリーニ首相はベネチヤ宮に海軍次官、アロイジ男其他關係諸員を集め伊國の今後の態度に關して凝議した

海軍會議
一ケ年六步

（ロンドン十九日）當都海軍筋では主力艦噸數に關し佛國側がなほ強ち要求に米國が如何なる決定をなすかが明白になる迄は海軍會議の事務は進ちしないだらうと觀測されてゐる尙ドイツの參加について一般に信ぜられてゐる処によれば佛國は或種の條件が承認されれば反對しないとの意向をもらした模樣で、その條件は明白でないが、海陸空軍相互依存の見解に基いた條件も含まれてゐる樣子である、兎も角コルバン佛代表が本國政府へ齎すべき新方針の發表によつて明白になるわけで其の歸英が待たれてゐる

バルカンに於ける
獨佛の爭覇再燃
混頓たる政局に拍車

（伯林廿日）政治的、經濟的乃ゃ通商上に於てバルカン諸國の覇權獲得を目指す歐洲列强特に佛獨兩國競爭が一九一四年—一八年の大戰終結と共に大團圓を告げたなど信ずる者あらばそれは大間違ひといはねばならぬ、成程あの不運な敗戰のおかげでバルカンは昨日迄は完全に佛國の配下に委ねてゐたが、今やヒトラーの下に再興し來つた獨逸はあらゆる佛國の妨害運動を蹴飛ばして少くとも經濟的に進出して來た、勿論未だ大戰前迄の距離に想到すれば其支國との程度に至らないが、國際狀勢の推移を注意深く觀察してゐる程の連中はすべて佛國の敵が伊國にあるは言ふを待たない、伊國の同盟國がブルガリヤだ卽ち同國皇后は伊國皇女なる事を見ればこれも亦論ずる迄もない、それにアルバニヤが伊國の庭使下にあるも明白過ぎる位明白な事實だ、これを要するにユ國は腹背に敵を受けてゐる、ユ國北隣にはルーマニヤの不倶戴天の敵ガリヤがあり、弱國になつた

ユ國とドイツとの通商貿易の進展振りは目覺ましいものがある、これが自然の成行として政治、外交方面にもドイツとの親交に轉じて來つゝあるのも亦當り前だ、それの反響として佛國との貿易は次第に衰退を示してゐるは數字の明白に語る所だ

其他のバルカン諸國も皆バ離れてベルリンに傾いて來つゝある

★十九日
▲日滿貨物連絡
日滿兩國間の鐵貨道物連絡は來月二十日から實施に入る
▲日支往來頗繁
近頃日本視察者が頓みに增加して來た支那では又青島の實業家八名から成る都市視察團といふのが近日來朝する
★二十日
▲小學校へ補助
小學校に對する國庫補助は今日文部省で決定したので各地方長官へ通知あつたが、總額本年度は六百三十万円で昨年に較べて百五十万円の補助增加である
▲振替貯金三十年記念
日本に振替貯金が出來てから來月一日で丁度三十年目に當るので仝日より三日間全國に亘て振替貯金三十年記念展覽會を催すと

JOAK

清酒 東麒麟
後藤商會
Rua Florencio de Abreu, 74-A
Caixa, 528 Bad. Telegr. TOZAN
São Paulo

HOTEL MIKASA
T. KOBUCHI
大阪商船會社指定
船舶食料品並船具御用達
乘船切符取次
輸出入品通關、運送手續取扱
旅館三笠
サントス市
プラス・クーバス街二六四—二六六
電話 二九五八番—郵函 六五七番
小淵友一
電略「ミカサ」
Telephone, 2568 - Caixa, 657
Rua Braz Cubas Nos. 264 - 266 - Santos

HOTEL USHIO
清潔な室と氣のきいた御料理
ブラジル國邦人唯一の大旅館
高層五階建—エレベータ附
潮ホテル
サントス市ブラス・クーバス街二三九
RUA BRAZ CUBAS, 259
Tel. 5181 Caixa Postal, 328
—SANTOS—

黑島印醬油
●美味しく割て品質本位
の利くお醬油
北西線ブロミッソン驛前
醸造人 黑島伊平治

診療時間 午前九時ヨリ午後五時迄
北大醫學士
今田求
毎週木曜午前よりカフエランヂアへ出張
リンス市
セントラル・オスピタール・ツーダ街角
電話 一四三
郵函 二〇三

Dr. R. Uchida
R. Manoel Goulart, 75 - P. Prudente - Tel. 1.0 - C. P. 248
同仁會
地方醫局
ドトール
內田利藤次
ソロカバナ線
プ・プルデンテ
市マノエルゴウラルト街七六
郵函 二四八
電話 一五〇

バウル驛前
澤尾ホテル
郵函 六十八
電話 一三五

日伯齒科醫院
擴張＝增設
謹告
拜啓陳者當院、諸彥の御厚情と御愛顧の裡に開業十週年を迎へ得しは唯感謝の外無之候
今般之を機とし醫院も擴張、新たにレントゲン科、ジアテルミア及テルモフルックスの各科を增設いたし近代科學の新鋭設備と最新齒科醫學とを以て斯道に精進いたし度く願ひ居り候
殊にブラジルに於ける衛生保健上重要なる口腔衛生の發達と之によりて招來さるべき人類の幸福の爲に微力を捧げ諸彥の御期待に副はんものと決心いたし居り候
茲に紙上を以て御挨拶申上ぐる次第に御座候
科目
一般齒科
口腔外科
レントゲン（X光線科）
ジアテルミア科
テルモフルックス科
矯正齒科
醫員
齒科醫學士
院長 村上眞市郎
大阪齒科醫學士
林博之
齒科リツセンシアード
山田忠松
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街四十番

Ohara Irmão & Cia.
Araçatuba--Guararapes--Mirandopolis
R. Paula Souza, 46-B Tel. 4-2831
São Paulo
農產物委託販賣各位の御便利を計るためコニエシメントに對して御融通致します
大原兄弟商會
聖市パウラソーザ街四十六B
電話四—二八三一

Casa Tozan Ltda.
Commissario
Telephones : 2105 e 2106 - End. Telegra. "TOZAN"
Praça Mauá, 25 - Caixa Postal, 911 - Santos
珈琲コミツサリオ
カーザ東山
東山銀行部
伯貨定期預金 一ケ年六步
サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ七四—A
聖市郵函一五二八

リオ通信

聖州共和黨 P・C黨異見派に接近か

聖市電報の傳ふるところによると聖州共和黨の有力者ロベルト、モレイラ、ラエルテ、アブスンソン、ガスパール、リベロの三氏は過日P・C黨異見派頭株連を訪問して何事か密談を遂げたとあるが一般に右を以て共和黨がP・C黨異見派との妥協を提唱したものであると見て居る

但し異見派の最有力者の一人ベネディト・モンテネグロ氏は右風説を打ち消し自分等が共和黨と提携するが如く傳ふるものがあるが未だ嘗て自分等はかゝる事を考へた事はない、自分等がサレス政府を支持する事は從前と何等變りはないと唱へて居るが、アルカンタラ・マツシャード氏はリオ方面にどんな風説が行はれて居るか分らぬから今のところ何とも批評の仕方がない

と意見發表を差し控へた模様である、兎も角も聖州共和黨が今や暗々裏にP・C黨異見派抱き込み運動に奔走してゐる事丈は確實であらう

フ將軍ノ時局談

十八日豫定より早く飛行機を以て入府した南大河州統領フローレス・ダ・クーニヤ將軍は全夜往訪の記者團を迎へ冒頭ポソス・デ・カルダス會談説を打ち消し

ヴァラダーレス統領からポソス・デ・カルダス訪問の招待を受けた如く傳へられたのは事實でない、勿論ベロ・オリゾンテ行等も噓ゼツリオ大統領は訪問するがカルナヴアルが過ぎてからじゃ、何しろ當分はモモ（カルナヴアルの王樣）がリオの王樣だからナ

と諧謔一番した後次の如き意味の重要政見を發表した

▲直接選擧（普選）は憲法の誤解意法が大統領を選擧するに間接選擧を排して直接選擧を規定した事は非常な誤であるが、その理由は直接選擧になるとミナス、サンパウロの如き大州に支配されるからである、間接選擧（議會選擧）の利益の中には色々あるが、二十二年以來大統領選擧毎に現れた政治的騷擾等を妨止する事が出來る

▲議會主義には反對改めて言ふが予は決して議會主義者ではなく飽くまゞ大統領主義者であるがブラジルには嚴格な意味の大統領主義は適應しない、ブラジルはブラジルの國情と言ふものがあるからだ、それから責任內閣を採用する必要はないと思ふ、現に佛國では責任內閣制を採用する特殊の法令を發布して居ない

▲後繼大統領問題ゼツリオ大統領の後繼者は決して南大河からは出ない、この事は南大河要路の者の一致した意見で予の政敵からの点では一致して居るただ南大河は後繼大統領問題に干與する丈の權利を持つて居る、この權利は絶對に手放す譯には行かない

▲三黨妥協問題南大河の三黨妥協を目して誰彼を目指して出來あがつた如く說くのは當を得てゐない、あれは單なる平和事業でその平和事業は單に南大河許りでなくブラジル全体に必要なものである

ミナス州にもビーラ案適用か

議會少數黨首領ジョン、ネーヴエス氏が過日南大河より來府後間も無く秘にミナス州にはバルバセナ市に於て開催されたミナス反政府黨の首腦部會議には同氏自ら出席し居り同會議では主としてミナス州にビーラ案の責任內閣制採用を議したとある点より見てミナス州政界の大團圓結機運が進捗しつゝある事が察せらる猶石報道を裏書するが如き一報はアンツーネス・マシエル前法相（南大河自由共和黨）がジユイス・デ・フオーラ市に於てアントニオ・カルロス氏と長刻にわたる會談を遂げた事である

サレス州統領黨總務を辞任

P・C黨新總務部は十九日その本部に於て新執行委員選擧の為め改選後最初の會合を一過日總務の一員にあげられてゐた州統領サレス氏の辭意を發表し

全員一致を以て之を承認すると仝時に補缺としてブルーデンテ・デ・モラエス、ネツト氏を選任した

平穩裡に總選擧閉ず

政友との差三十五 民政に凱歌上る 無產黨も大進出

二十二日午後七時現在

（東京廿日）總選擧は大体に於て靜穩裡に終了した、棄權率は東京廿八パーセント大阪及京都は四十パーセント前後に達した、かく棄權が高率を示したのは勿論當局の選擧肅正徹底に原因するものと見られてゐる、選擧當日に至つて檢擧網にひつかかつた候補者三十五名、選擧人約一千を數へた選擧結果の明白になるのは廿三日と思はれるが東京朝日新聞の豫想發表の如く一般に無產黨の大進出が期待されてゐる

（東京ラヂオ廿二日）總選擧は新潟、三重、熊本、鹿兒島、岡山、北海道の一部が未だ開票を終了せざる廿二日午後七時現在、全國に亘て左の成績を示して居る

民政	一九五	政友	一六〇	昭和　二六
國同	一三	社會	一七	中立　二二
其他	七			合計　四四〇

「露佛同盟は ロカルノ條約違反」

ライン派兵をほのめかし獨逸紙攻擊す

（伯林　廿日）目下佛議會で佛露同盟條約問題討議中であるが、獨逸諸紙は一齊に右條約排擊の聲をあげ「これは正しくロカルノ條約の違反である」と非難してゐるが、ドイチエ・アルゲマイネ紙は佛國が露國と結び以て露國の世界革命運動に支持を與へる事はロカルノ條約の精神は言ふ迄もなくその明文條項を違奉せざる事になる佛露同盟の相手國が我獨逸である、一旦事ある場合我獨逸に責任を推しつゝ侵略攻擊の刻印をおす條約が佛露間に既に出來てゐるに相違ない、實際極東問題の例が明示する如く、何國が攻擊國と目さるべきかは公平な立場からは決定出來ないのだから結局多數決になるのだ、此点を難義で

日米獨伯の聯盟加入が先決問題

英政府の見解

（倫敦廿日）英上院に於てロシアン侯は再び資源分配の急務を說き

今にして資源獲得に懶む諸國に對し門戸を開放せざるに於ては事態は收拾の餘地なきに至るだらう

との自說を强調したに對し、スタンホープ伯は政府側を代表して次の如く答へた

當局でも此問題については常々研究してゐる所である然し實際問題としてこれを見ればドイツ、米國、ブラジル及日本等の諸國が國際聯盟に加入してゐない以上その解決は不可能だと考へるものだ

資源分配論

因みにロカルノ條約は佛獨白英伊の相互保障條約で即ち

一、佛獨は佛獨間及白獨間の國境不可侵を尊重し英伊はこれを保障する

二、佛獨白は相互に侵略行爲に出ず、正當防衛及び國際聯盟によるの外は互に戰爭に訴へず

三、佛獨間又は白獨間に生じたる紛爭解決は武力に訴へず平和的手段による、權利の爭は國際裁判に、その他は調停委員會或は國際聯盟に附託すべきこと

等である

京阪地震

（東京廿一日）一面所報の近畿激震後報として（同盟通信の報道によれば、激震の最高調に達したは午前十時頃、判明したる被害は死者五名、負傷十六名、倒壞家屋十二戸、破壞家屋十七戸であるとゞ

スペイン總選擧 左翼黨大勝

「ジブラルタル十九日」今回のイスパニヤ國總選擧は俄然左翼黨の大勝に終つたので同國貴族富豪連は一身の危害を恐れ續々當市に避難中で旅館等此等逃亡者で滿員の盛況である、爲に後から到着した多數の連中は遠くタンジエール方面に迄赴いて旅宿を求めねばならぬ狀況にある

天皇機關說の美濃部博士 壯士に擊たる

（東京廿一日）天皇機關說問題で國體明徵事件の當の被告東京帝國大學名譽教授、貴族院議員法學博士美濃部達吉氏は、右事件以來自宅に謹慎中であつたが、今日二名の壯士闖入し拳銃で狙撃した、急を聞てかけつけた警官にも發砲負傷せしめたが目的は達せず足部に負傷を受けた博士は直ちに病院に收容せられた、詳細は不明である

西國政治犯三万に特赦令

（マドリード廿一日）過日の總選擧は左翼黨の壓倒的大勝に歸し、遂にその政權獲得の第一歩として政治犯の特赦令がザモラ大統領により署名されるに至つた、イスパニヤ帝國の現時の政治犯は約三萬と概算せられてゐる、大赦實施は正式には明日の筈だが、事實に於ては既にドシ〳〵釋放が行はれてゐる

▲伯國に日本移植民排斥がなかつたら、在伯日本人は反撥心をなくした腐れゴム見たいなものになつて仕舞ふであらう

▲吾々は伯人排日家連に感謝して然るべしである

▲英米海軍が今日の如く强大でなかつたら、そうして英佛軍が日海軍と同盟はかし持續して來てゐたら、日本海軍は恐らく今日の英米を向に廻して戰はずして絶然敵を壓する兵法の妙に到達し得なんだであらう

▲吾が日本海軍に英米海軍に感謝して然るべきである

▲但し一旦觀急あつた場合、臆したり遠慮したりは仕らぬ日本人は仁義禮智忠臣孝悌が支那人の如く言葉の上にのみ保存する國民でなく、地でやる國民である

▲在伯日本移植民もパラグワイ國へ轉向すべき將來が期せられぬでもない。パラグワイ國へ〳〵とノロエステ線をノロ〳〵辿つて行く日本人の運命は放浪の「ヤクザ」運命と見べきであらうか、それゞ民族的に彌榮の猿太彥の再來と解すべきであらうか

▲明日から謝肉祭である。黑人は黑人の群で踊り狂ひ、白人は白人の群で跳躍する。そこに人種的の明瞭したものが味はえると共に一面黑でもなく、白でもない灰色のものがゐるこれが伯國の現狀である

▲母國の憲政代議士總選擧が去る二十日にあつた。在伯の吾々に母國選擧の一票が行使出來ない処に吾々の淋しさがある、伯國の選擧一票これも持つてゐても行使に吾々が遠慮せねばならぬ處に哀しさがある。コスモポリタンの悲哀の卵である

▲雨過ぎた聖市は秋氣滿しである。カモミラの白い花盛りである

歸聖御挨拶

皆樣！只今歸聖致しました

貳ケ月有余に亘り各位諸氏の熱烈なる御支援を賜はり一事衷心厚く御禮申上ます

このカルナヴアル濟み次第續行更にフランカ、ミナス方面へ出發致します（其の節は何卒御援助賜はらん事を御願申上候）

二月廿日

モヂアナ線 フランカ ミナス方面 各諸賢へ

御挨拶並御通告

不肖"昭和乃弘法"宇木田晃生は救命主としてモヂアナ線各皆樣方より多大なる賞讃の言葉を戴き開運の道に努力致して參りました愈々（第二回の巡廻生命哲學鑑定大講演行脚を歸聖次第（多分四月中旬か下旬）にノロエステ線へ參ります其の節は何分の御後援賜り度此処に謹んで御挨拶旁々御願申上ぐる次第で御座います

二月二日

聖市トーマスデリーマ街七五ノ八

姓名鑑定者 宇木田晃生

事務員 宮田泰助

ノロエステ線在住諸彥へ

Casa Marzocca
Officina Propria para Concertos

トランク並にカバンの製造及修繕は是非リベルダーデ街一番へ親切叮嚀廉價で大評判のマルゾツカへ

Sasaki Hotel
R. J. Pessoa, 1-32 -Baurú
宿泊料七ミル五百
純日本食
洋食
佐々木旅館
佐々木たけの
バウル驛前
電話三一一

家婦一名至急お雇ひしたし
年齢を問はず
聖州新報社氣付
香山宅

二ミルル均一
バウル市各病院醫院に連絡があります
御病名によつて各專門醫に御案內致します
法律の通譯、就職の御周旋、領事館宛各書類の代筆等手落なく御便利はかります
藤田旅館
藤田ヒノ
バウルー驛前
郵函一番　電話二二二番

洋服　最新流行型
皆樣達へ親切叮嚀、敏速安價に御仕立物を御奉仕致します
石井洋服店出身者
小山內洋服店
聖市コンデ街三五

聖市日本病院建設寄附應募者芳名並金額
（第廿七回發表）

●サンパウロ地方委員會扱
其ノ拾六

●モヂ・ダス・クルゼス中央日本人會扱コケイラ區
▲四百五十ミル也　長尾藤太郎「內拂百五十ミル」三百ミル
▲三百ミル宛　吉田鐵三「全額拂込濟」中村三吉、小野豐藏、紺野一郎、才田重左衛門
義信「各百ミル宛拂込濟」松村豫作、佐藤彌七、坂井陸雄
▲二百十ミル也　齊藤義雄「內拂五十ミル」
▲二百ミル也　三瓶今朝一「全額拂込濟」
▲一百五十ミル宛　猪飼利三郎、前川信義、阿部定次郎、藥谷三壽、岡清、仲本可興、生田學而、村上金次「各五十ミル宛拂込濟」
▲一百二十ミル宛　市毛兵五郎、田邊定「各四十ミル宛拂込濟」
▲一百ミル宛　井關榮太郎、郡元重直、荒木勇、平野千代二、大谷晴信、齋藤正雄、木村一郎、與座貫順、坂元秀雄、田邊重之、與座武雄、芦野平三郎「各三十ミル宛拂込濟」、滋野甚一「五十ミル內拂」、登田榮實登「四十ミル內拂」、清水作「三十三ミル內拂」、迫田三代治「三十五ミル內拂」、村上喜文「四十ミル內拂」、松尾武次郎「內拂二十五ミル宛拂込濟」北澤吉郎、吉田惣兵衛「各全額拂込濟」、柳沼久吾岡田千代
▲九十ミル也　小野文藏「內拂三十ミル」
▲六十ミル宛　藤原榮治、譽田卯八、塚原竹思郎、高岡栗木村要作「各二十ミル宛拂込濟」
▲六十ミル宛　谷地達雄
▲五十ミル宛　鈴木善夫、吉田彌平「各二十五ミル宛拂込濟」岡田清五郎「全額拂込濟」浦谷猪一郎、岡元信平、大仁田龜松、田村寛、上江洲智訓、我妻光四郎、竹本浦次、稻岡龜治、山本三藏、菅田榮吉、宮里勝、與座曾永、田邊重太郎「各二十ミル宛拂込濟」尾崎末松「各三十五ミル宛拂込濟」北澤吉郎、吉田惣兵衛「各全額拂込濟」、柳沼久吾
▲四十ミル也　平良善信「內拂十四ミル」
▲三十ミル宛　後藤友重、寺山清記、池ケ谷伊作「各全額拂込濟」佐々木進造、平野敏邦、角川福平、高橋彌三郎
▲三十ミル宛　上野千里、葛城圭治「各二十ミル宛拂込濟」
▲二十ミル宛　村上辰川崎松芳、片岡武參、村上辰
▲十五ミル宛　石田元八、矢野儀一、小田豐喜、北山晴、佐藤彌作、尾方一人、廣瀨賑、村岡榮治
▲十ミル宛　中村鹿次郎、藤本傳四郎「各全額拂込濟」中坂繁、青柳六三郎、小曾戸宣久、比賀武吉、吉加江捨二郎、栗田善吉、紺野孝一、織末、屋坂幸雄、土井正夫、中間享三、仲本可明、志村滿吉、尾常次、洞口利男、佐藤敏雄、西銘盛慶「各拾ミル宛拂込濟」
▲五ミル宛　山內正夫、知花龜上、小橋川與二「各拾ミル也」鈴木フジ
▲拾五ミル宛　仲宗根新「全額拂込濟」青木治郎「內拂五ミル」
▲拾貳ミル也　鞠古金政「內拂四ミル」
▲拾ミル宛　平田謙治、藤井仲市、酒井章三、倉元綠「各全額拂込濟」北原勇　橫田良勇、瓜生金助
「サンパウロ地方委員會」扱
其ノ拾七
●ブ・ベルナルデス・レブレー「植民地」各全額拂込濟」
▲十ミル也　淵田武八、生田義金三郎、小林源人、佐川
▲拾ミル也　飯田勘太郎
▲貳拾ミル也　井上注連吉
▲拾五ミル也　本松健造、土屋長次郎
▲拾ミル也　淵田作次
▲五ミル也　佐藤省三、岩村千代造、村元秀孝、木村金平
◎サウダーデ植民地
▲拾ミル也　谷崎邦二
◎ブ・ベルナルデス
▲五百ミル也　稻毛鶴次郎
▲壹百五拾ミル也　白石重德
▲壹ミル也　北口穎男「全額拂込濟」齋藤丈吉、堤喜作
中橋敦雄、遠渡英一
▲五拾ミル也　下江周市「全額拂込濟」福原憲一、村本秀藏
▲參拾ミル也　小野田慶次
▲貳拾ミル也　別府三郎「全額拂込濟」別府千助、土井進
▲拾ミル也　松本千代一、保坂進司、出貫誠治「各全額拂込濟」鹿子木鶴彥、坂本勇、伊藤伊勢松、北原房松
◎レジエンテフエイジョ驛
ニューマス
▲五百ミル也　堺興曾吉
▲壹百五拾ミル也　長谷川源
森光雄
▲壹百ミル也　森長藏、橫溝久五郎、宮城重兵、馬田重勇
清水數馬、秋永彥一
▲八拾ミル也　岩本永三郎
▲七拾ミル也　小林勝治、安藤久市
▲五拾ミル也　高柳武七郎
比嘉親英、風間惟睦、古賀荒記、清水秀太
▲參拾ミル也　荒木佐吉、魚屋春雄、國本門四郎、矢西孝春、岸本元長
▲貳拾ミル也　上別縄榮吉、熊木時太、高山勝
國木勇　三宅勝、北川豐
▲十ミル宛　金城勘次郎、未安秀次
◎ブ・ウエンセスラウ驛、ベロン・クラーロ植民地
森光雄
▲一百ミル也　本道利八
▲八十ミル也　富永增太郎
▲五十ミル也　濱田勝次
▲三十ミル也　西谷敏夫
▲二十ミル宛　本道彌覺、川崎宗次、高木甚藏
▲十五ミル宛　石田元八、矢野儀一、小田豐喜、北山晴、尾方一人、廣瀨賑、村岡榮治
貳、五十嵐義夫、柴田勇次郎、栗田善吉、紺野孝一、織末、屋坂幸雄、土井正夫、中間享三、仲本可明、志村滿吉、尾常次、洞口利男、佐藤敏雄
▲十ミル宛　中村鹿次郎、藤本傳四郎「各全額拂込濟」中坂繁、青柳六三郎、小曾戸宣久、比賀武吉、吉加江捨二郎、岩谷莊之助「內拂七ミル也」
▲五ミル宛　山內正夫、知花龜上、小橋川與二
▲拾五ミル宛　仲宗根新「全額拂込濟」青木治郎「內拂五ミル」
▲拾貳ミル也　鞠古金政「內拂四ミル」
▲拾ミル宛　平田謙治、藤井仲市、酒井章三、倉元綠「各全額拂込濟」北原勇　橫田良勇、瓜生金助
「サンパウロ地方委員會」扱
其ノ拾八
◎バルゼア植民地「各全額拂込濟」
▲一百ミル宛　吳田光徳、矢野易、村上光之
▲四十ミル也　山本卯八
▲三十五ミル宛　豐永方男
▲五十ミル宛　上村重善、北野政一
▲四十ミル宛　濱田起衛、田中彌太郎、田中京一、田中松次
▲二十ミル也　伊丹善吉
▲十ミル宛　家入一郎、小田喜代一、荊谷正之、梶原鹿太郎、梶原竹一、無名氏、矢野卜田末彥、荒木喜一郎、三宮重信
馬、島田新次郎、村垣映
「サンパウロ地方委員會」扱
其ノ十九
◎聖市
▲二百五十ミル宛　松本龍一
伊藤群平
▲二百ミル宛　井上清治、飯田福三郎
▲一百五十ミル也　サンパウロ日本人會代表杉本芳之助
「全額拂込濟」
▲五十ミル宛　高木晃原、佐々木勝男、安達芳晴
▲四十ミル也　塩崎經三郎
▲三十ミル宛　嶺繁造、川野積
▲二十ミル也　佐藤久三郎
小計十七コントス八百六十七ミル也「內拂込濟四コントス九百五十八ミル也」
「バウル地方委員會」扱
其ノ六
◎グワランタン驛タクワール植民地
▲一百ミル也　木塲田安夫
▲十ミル也　松田宇三郎「全額拂込濟」
◎グワランタン驛及附近植民地
▲五コントス九十ミル也　第一回拂込額合計
◎ラウル・ジユール驛日之出植民地、ピラ・ジユイ町、チビリツサ、バウリスタ耕地、アグア・デ・バレイロ耕地
▲一コント八百十五ミル也　第一回拂込額合計
小計一百十ミル也
「拂込額合計六コントス九百三十五ミル也」
◎計十七コントス九百七十七ミル也
「內拂込濟十一コントス八百九十三ミル也」
▲累計六百五十八コントス六百八十九ミル五百レイス也
「內拂込濟一百四十二コントス六百十二ミル二百レイス也」
二月廿一日
聖市
日本病院建設委員會

昨年度對日棉花輸出

壹万參千參百コントス

總輸出額六十四万八千コントス

昨年十二ケ月中の伯佛の輸出數量及金額は

一三八、六三〇噸

六四七、九九三コントス

で之を一昨年の十二万六千五百四十八噸及四十五万六千百九十八コントスに比較すると數量に於て一萬二千八十二噸を、金額に於て十九万千七百九十五コントスを何れも增加してゐる、昨年度の輸出數量及金額を輸出港によつて分別して見ると

	噸	コントス
サントス	五、九二二	二、六九二
カベデロ	一、〇四三	一、〇四三
フオルタレザ	九、九三二	八〇、七四九
レシーフエ	一、六四三	四、六一
ナタール	九、四四〇	四、七一四
マセイオー	三、四六〇	一六、〇〇七
カジュエイラ島	三、四六〇	一、七六六
サンルイス	二、六四七	一、八〇〇
ペネド	二、三六六	九、九四三
リオ	一、四七六	九、九三
バイア	九九三	九九九
ベレム	五六九	二、七五五
アラカジュー	二五六	一、二二
其他等	二、七二二	二、七二二

であるが、輸出先を國別にすると次の如くである

	噸	コントス
獨逸	八、三九一	三、八四一、三八一
英國	二五、六九九	一二九、四一九
佛國	四九、九五六	四九、九五六
白國	一〇、六四四	七、〇二四
和蘭	五、九八六	三、七一六
日本	四、七六六	二、四九二
伊太利	七、五四六	三、七二九
佛國	四、六九二	三、四三五
波蘭	二、九八八	二、九八六
	四九四	二、三六八

賴りとする夫に背かれ

敢へなく散つた國際愛

破鏡の惱みを抱く日本娘

ブラフトホームで拾つた哀話

一篇……昨日午後聖市ルス驛プラフトホームで物悲しそうな樣子をしてゐる中年の邦人婦人があつた、氣何なく心ひかれた記者が尋ねると言葉少く國際愛の破局を語るのだつた――長崎縣生れ中村やす子さん(三〇)＝假名＝が聖市アベニーダのポルトガル人の某家にアルマディラとして雇はれたのは昭和三年頃であつたが、間もなく全家の息子の友人でよく同家に遊びに來るコレヤ君(當時廿七歳)との間に國際愛の實が結ばれ、やがて正式結婚にまで進み三、四年の後には二人は相携へてセントラル線の某驛に愛の巣を構へ人も羨む睦まじさであつたが、昨年はじめコレヤ君の周圍に他の女性が現はれてからはコレヤ君の仕打が俄かに冷やかとなり遂に別居話がもちあがり、惱みの彼女は遂に聖市の知人宅に身を寄せるに至つたのであつた、その後奉公して居た當時の仲のよかつた女友達がポルトアレグレに居住の邦人醫師

菊地圓平(サントス)内田利藤(プ・プルデンテ)川口熊次(プ・プルデンテ)奥村良太(ニツポランデヤ)金野貢太(パストス)久場眞長(カンパラ)

の七氏は來る二十四日上聖―目下滯聖中の新垣、中村兩博士及び高岡博士、原、細江の在聖各ドクター―と懇談會を催し席上邦人醫師會設立に關し

最近在留邦人の衛生機關につき非常な關心が拂はれ日本病院に本病院の建設運動關することもあるので來る二十五日官邸に一同を招待晩餐會を催すと

せなく、輝く聖市のネオンを後に惱みを抱いて旅立つて行つた

そして彼女は雨に濡れてやるつた

邦人醫師會

お醫者さんが一堂に集り

設立について種々協議

ドン肺病療養所の新設などを見るに至つてゐるが、地方在

そして彼女は雨に濡れてやる

生れ出る

改名と米の關係――前線所報のでは、インチキではないと聲明して行つた

米の因作は改名しないからだと改名をすすめてゐる……と報じたら、昨日鑑定師宇木田晃生といふ人が來社、米の出來、不出來と改名とは關係のないことだ、自分は決してそんな意味で改名判斷をしてゐないので轉禍作福運命開發の道を學理的に解說してゐる

◈

右の改名した人の名簿を見ると大勢の名の中にナント！ペロンの鎭台まで名をならべてゐる、やつぱり鎭台は「坂元靖」でないと感じがピツタリ來ない

◈

モザイク

◈

夕立や智慧まさぼまのかぶり物……昨日より聖市は雷鳴と共に又々雨々々

◈

意氣込む

醫療組合

定欵も登錄

會員三百名獲得へ

過般外務省下附の邦人衛生費三千円をもつて設立された聖市醫療共濟組合はその後着々と内容の準備動策を要請したが

聖州政府の招致せる北伯移民の衛生狀態が甚だ以て不良なるに鑑みサーレス州統領はきにこの点についてアガメノン勢相に抗議書を送つてその詳細を知ることが出來ぬが傳ふるところによると勢相は

なし現在では會員りであるが

最近ア勢相は補

北伯移民の衛生狀態最惡の責任はロイド會社だ

勢相、サレス聖州統領へ回答

聖州統領へ送附した模樣で、その内容については目下の處民長の報告を根據として有に對する一回答書をサーレス

聖州統領は

北伯移民の衛生狀態の最惡なるはその責任は植民局にあらずして移民輸送の當事者たる交通省直轄のロイド汽船會社にある

事を主張した模樣である

尙ア勢相は右回答書に於てかかる種類の弊害除却の爲この際移民局を改造、これによつて一切の内外移民をコントロールせしむべき意向ある事を宣明した

日伯經濟協會事務所

日伯經濟協會の事務所はリオ市キンゼ廣場の某ビルヂングの二階か三階を全部借り切つた模樣

肺療養所

建築競爭入札

同仁會のカンポス(サントス)の兩氏であつた、處が入ジョルドン肺患者療養所建築競爭入札は去る二十日同仁會に於て行はれたが、入札者は丸野氏(三二四コントス)鮫島氏(二四〇コントス)の兩氏であつた、處が入札最低額と同仁會側の見積額との差は六十コントスといふ大きな開きがあつたので全然話にならず同仁會側の見積額は一八〇コントスの間

黑人總數二百万 死亡の高率で減少へ

向上心なく半分は文盲 自殺行爲を續ける彼等

特ページ輯

ラテン・アメリカに於ける黑人の狀態は、その生活方面に於て北米に於けるそれとは異常な相違を見せて居る

北米に於ける黑人種はラテン・アメリカとは反對に彼等と絶對に混血しない白人種によつて圍繞され、南方の所謂ブラック、ベルトに隔離されて居る

斯樣に彼等の社會が或る限定された地帶にのみ結成されてゐるため、社會生活に於ける競爭と言つても對白人種關係に於ては餘り甚だしく行はれてゐない、それ故彼等を待つ將來の運命に就いて論ずるにしてもまだ〳〵時間的に餘裕があらう、即ち近い將來に於てどうなるかと言つた樣な問題に對しては現在に於ては卽決的解答は得られぬであらう、ブラジルでは多少の差異は勿論あつたが黑人種が、その數に於て白人種より優つてゐた時代が屢々あつた、そして彼等は最も廣範圍に亘る而も無遠慮な混血を行つた結果次第〳〵に彼等の居住してゐる地帶の人口に合体して來たのであつた

一、奴隷時代

ブラジルに黑人が最初に輸入され、的確な年代を證據だてる記錄も考証もないが、アメリカ發見の約五十年前から歐洲に於て黑奴の取引が行はれ葡萄牙が國營易の本場であつた事だけは言明し得るのである、此の事實は更にブラジルに於ける黑人の輸入もブラジル發見と同じ時代から行はれたものと推定させる充分の理由となりはしないかと多くの人はさう考へてゐるらしい

由來歐洲に輸出された黑人は多くは家庭的奴隷として使用されたもので、此の現象はブラジルに於ても最初の時代では同樣であつた、その後白人の土着印度人が次第にその勢力を奪はれ、其數が減少し遂にはゼスイツクの手によつて保護される樣になつてから農業或は鑛業に、更に遲れては農業に勢力の不足を來たし初めて茲にアフリカと新大陸の間に大量の黑奴取引が行はれる樣になつたのである

此の黑奴が大量にブラジルに輸入される樣になつたのは特に數度の帆船がポルトガルから個人の手によつてアフリカに送られたと言はれて居る

斯くしてアフリカ黑奴の輸入が增加するに從ひ人種問題は當然起らねばならぬ運命にあつたが、而かも急激には起らなかつた、其の主なる理由は植民の初期に於ては白人の數が黑人の數に比して極めて少數だつたからである

白人と言つても其処に住んでゐるのはポルトガル人のみであつた

二、黑白人の接近

そして彼等ポルトガル人と黑人との間には未だ血緣關係も餘り起らなかつたし、又社會的の交渉もなかつた、之を要するに黑人はまだ外國人の域を脫し得ず、單なる機械或は勞働用具に過きなかつたのである、併し植民期の最初の三世紀を經た時、彼等の數は次表に見る樣に大勢力となりブラジル獨立のために直接間接に大いに盡すところがあつた

白人　一、〇一〇、〇〇〇
アメリカ印度人　二五〇、〇〇〇
解放奴隷　四〇六、〇〇〇
褐色奴隷　二二一、〇〇〇
黑人奴隷　一、三六一、〇〇〇
計　三、二五〇、〇〇〇
（一七九八年サンタ・アポロニア博士統計）
白人　一、〇四三、〇〇〇
奴隷アメリカ印度人　二五九、〇〇〇

彼等は一八八八年の奴隷解放以後次第に社會鬪爭に破れ頽廢の一路を辿るべく運命づけられた、彼等の出生率は低下する一方なるに反し死亡率は增大する一方であるからである、何時かは彼等もこの社會から消滅するかも知れない

サンパウロ州における黑人及び混血兒の出生率は統計の不完備から判明しないが、一九二七年の人口統計に現はれた數字を基礎として計算すると、死亡率は實に千人に付き四二〇、〇といふ驚くべきものである、而して北米に於ては僅かに一六・三に過ぎない、一方北米に於ける白人の出生率は千人に付二二・二に比して黑人は二五・三といふ高率を示してゐるが、ブラジルでは之と全然反對の現象を呈しつゝある

四、混血と共に數は減少

今より去る百餘年前ミナス州に金鑛業がまだ行はれてゐた頃時代に分つことが出來る、卽ち第一期は北伯の砂糖工業の隆盛に伴ふ輸入時代、第二期はミナスに於ける鑛業開發に伴ふ輸入時代、第三期は南伯に於ける農業開發に伴ふ輸入時代、第四期は現在に於ける黑人の狀態は、その生活方面に於て北米に於ける黑人種と異常な相違を見せて居る

北米に於ける黑人種はラテン・アメリカとは反對に彼等と絶對に混血しない白人種によつて圍繞され、南方の所謂ブラック、ベルトに隔離されて居る

斯樣に彼等の社會が或る限定された地帶にのみ結成されてゐるため、社會生活に於ける競爭と言つても對白人種關係に於ては餘り甚だしく行はれてゐない、それ故彼等を待つ將來の運命に就いて論ずるにしてもまだ〳〵時間的に餘裕があらう、即ち近い將來に於てどうなるかと言つた樣な問題に對しては現在に於ては卽決的解答は得られぬであらう、ブラジルでは多少の差異は勿論あつたが黑人種が、その數に於て白人種より優つてゐた時代が屢々あつた、そして彼等は最も廣範圍に亘る而も無遠慮な混血を行つた結果次第〳〵に彼等の居住してゐる地帶の人口に合体して來たのであつた

五、消滅を速める三つの主因

そして一八七二年サンパウロ州に於て全人口の六二パーセントを示してゐた黑人は一九二三年には混血兒を含めても前後三世紀に亘つて輸入された黑人數は二百万であるといはれてゐるが白人、土人、並に混血兒との各州分散の狀態を比率を以て示せば別表の通りである

三、驚くべき死亡率

石の表に見る樣に伯國に於ける黑人並に混血兒の分配は南伯に於けるよりも北伯に於て濃厚な事がわかる、それは奴隷貿易の諸港が北伯にあり而も奴隷勞働者を必要とした農工鑛業がバイヤからミナスに移り、遂にサンパウロの珈琲地帶に於て其の擴大と延長を終つたからである

かくの如く植民期に於ける黑人の數は遙かに白人の數より凌駕してゐた、その後アフリカからの輸入は杜絶したが伯國に於ける彼等は繁殖した結果全体としての數を減じなかつた、其後歐洲移民が渡來する樣になつて茲に黑人は混血し漸減し始めたのである

放以後次第に社會鬪爭に破れ頽廢の一路を辿るべく運命づけられた、彼等の出生率は低下する一方なるに反し死亡率は增大する一方であるからである、何時かは彼等もこの社會から消滅するかも知れない

サンパウロ州における黑人及び混血兒の出生率は統計の不完備から判明しないが、一九二七年の人口統計に現はれた數字を基礎として計算すると、死亡率は實に千人に付き四二〇、〇といふ驚くべきものである、而して北米に於ては僅かに一六・三に過ぎない、一方北米に於ける白人の出生率は千人に付二二・二に比して黑人は二五・三といふ高率を示してゐるが、ブラジルでは之と全然反對の現象を呈しつゝある

四、混血と共に數は減少

今より去る百餘年前ミナス州に金鑛業がまだ行はれてゐた頃時代に分つことが出來る、卽ち第一期は北伯の砂糖工業の隆盛に伴ふ輸入時代、第二期はミナスに於ける鑛業開發に伴ふ輸入時代、第三期は南伯

新くして一八七二年サンパウロ全州に於て全人口の六二パーセントを示してゐた黑人は一九二三年には混血兒を含めても前後三世紀に亘つて輸入された黑人數は二百万であるといはれてゐるが白人、土人、並に混血兒との各州分散の狀態を比率を以て示せば別表の通りである

三、驚くべき死亡率

石の表に見る樣に伯國に於ける黑人並に混血兒の分配は南伯に於けるよりも北伯に於て濃厚な事がわかる、それは奴隷貿易の諸港が北伯にあり而も奴隷勞働者を必要とした農工鑛業がバイヤからミナスに移り、遂にサンパウロの珈琲地帶に於て其の擴大と延長を終つたからである

かくの如く植民期に於ける黑人の數は遙かに白人の數より凌駕してゐた、その後アフリカからの輸入は杜絶したが伯國に於ける彼等は繁殖した結果全体としての數を減じなかつた、其後歐洲移民が渡來する樣になつて茲に黑人は混血し漸減し始めたのである

放以後次第に社會鬪爭に破れ頽廢の一路を辿るべく運命づけられた、彼等の出生率は低下する一方なるに反し死亡率は增大する一方であるからである、何時かは彼等もこの社會から消滅するかも知れない

サンパウロ州における黑人及び混血兒の出生率は統計の不完備から判明しないが、一九二七年の人口統計に現はれた數字を基礎として計算すると、死亡率は實に千人に付き四二〇、〇といふ驚くべきものである、而して北米に於ては僅かに一六・三に過ぎない、一方北米に於ける白人の出生率は千人に付二二・二に比して黑人は二五・三といふ高率を示してゐるが、ブラジルでは之と全然反對の現象を呈しつゝある

四、混血と共に數は減少

今より去る百餘年前ミナス州に金鑛業がまだ行はれてゐた頃時代に分つことが出來る、卽ち第一期は北伯の砂糖工業の隆盛に伴ふ輸入時代、第二期はミナスに於ける鑛業開發に伴ふ輸入時代、第三期は南伯

五、消滅を速める三つの主因

そして彼等ポルトガル人と黑人との間には未だ血緣關係も餘り起らなかつたし、又社會的の交渉もなかつた、之を要するに黑人はまだ外國人の域を脫し得ず、單なる機械或は勞働用具に過きなかつたのである、併し植民期の最初の三世紀を經た時、彼等の數は次表に見る樣に大勢力となりブラジル獨立のために直接間接に大いに盡すところがあつた

白人　一、〇一〇、〇〇〇
アメリカ印度人　二五〇、〇〇〇
解放奴隷　四〇六、〇〇〇
褐色奴隷　二二一、〇〇〇
黑人奴隷　一、三六一、〇〇〇
計　三、二五〇、〇〇〇
（一七九八年サンタ・アポロニア博士統計）
白人　一、〇四三、〇〇〇
奴隷アメリカ印度人　二五九、〇〇〇

彼等は一八八八年の奴隷解